

プロトコール名 乳癌 HP+nab-PTX療法

適応 HER2陽性の手術不能又は再発乳癌

条件 パクリタキセルが使用できない症例に限る

投与期間 3週を1コースとする

投与計画

薬剤名	基準量
パージェタ	初回 840 mg/body
	以降 420 mg/body
ハーセプチン	初回 8 mg/kg
	以降 6 mg/kg
アブラキサン	100 mg/m ²

HER2検査結果

年 月 日

IHC3+
IHC2+ かつ FISH+
FISH+

いずれかであることを確認

薬剤名	投与量	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
パージェタ	420mg/body (初回840mg/body)		↓																					
ハーセプチン	6mg/kg (初回8mg/kg)		↓																					
アブラキサン	100mg/m ²		↓							↓														

(day1)

- ①生食100ml(ラインキープ、ルートフラッシュ用)
- ②生食100ml+オルガドロン4A(30min)
- ③生食250ml+パージェタ 420mg/body (初回840mg/body) (* 初回60min、2回目以降30minに短縮可)
投与前後、生食にてルートフラッシュ
- ④生食250ml+ハーセプチン 6mg/kg (初回8mg/kg) (* 初回90min、2回目以降30minに短縮可)
投与前後、生食にてルートフラッシュ
- ⑤グラニセトロン1B (30min)
- ⑥生食50ml+アブラキサン 100mg/m² (30min) **投与前、生食にてルートフラッシュ**
- ⑦生食50ml (5min)

生食100ml	オルガドロン 生食100ml	パージェタ 生食250ml	ハーセプチン 生食250ml	グラニセトロン	アブラキサン 生食50ml	生食50ml
	30分	*	*	30分	30分	5分

(day8、15)

- ①生食100ml(ラインキープ、ルートフラッシュ用)
- ②グラニセトロン1B+オルガドロン4A (30min)
- ③生食50ml+アブラキサン 100mg/m² (30min)
- ④生食50ml (5min)

生食100ml	グラニセトロン オルガドロン	アブラキサン 生食50ml	生食50ml
	30分	30分	5分

アブラキサン投与時はインラインフィルターを通さないこと

アブラキサンは特定生物由来製品であるため使用記録を20年間保管すること

投与前に心エコー検査を実施し、LVEFの測定をおこなうこと。
投与中も定期的に心機能の確認をすること。

パージェタ・ハーセプチンの投与が前回投与より6週間開いた場合には、
再ローディングをおこなうこと

●休薬・減量基準

・次表の基準を参考に、減量・休薬をおこなうこと

好中球数	1000/mm ³ 以上で実施可能
血小板数	7.5万/mm ³ 以上で実施可能
AST・ALT	2.5×ULN以下で実施可能 (肝転移症例では5×ULNまで可)